

平成 30 年度事業報告

(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

1. 平成 30 年度助成事業について

(1) 研究助成金の交付

平成 30 年 3 月 7 日の選考委員会の答申を受け、3 月 20 日開催の平成 29 年度第 2 回定時理事会で承認された土木分野 13 件、建築分野 12 件の計 25 件について、助成金計 2,500 万円を 4 月及び 10 月の 2 期に分けて交付した。

	助成者名	所属	研究課題	助成金 (万円)
土 木 分 野	松本 親樹	産業技術総合研究所	産業廃棄物である石炭燃焼灰を用いた法面の酸性土壌問題への対策：金属溶出、土壌侵食、植物生育への影響	100
	直井 誠	京都大学	微小破壊計測に基づく掘削由来の岩盤損傷過程の理解と山はね退避基準作成	100
	菊本 統	横浜国立大学	海底下1000mの海洋プレート岩盤の異方性の特定	100
	吉岡 有美	鳥取大学	マルチトレーサーおよびモデリング手法による濁水流下現象が扇状地の地下水位に与える影響評価	100
	伊藤 歩	岩手大学	Fe(VI) 酸塩を用いた土壌中亜ヒ酸の新規不溶化手法の開発	100
	欒 堯	埼玉大学	パチルス菌を用いた補修材によるASRひび割れの補修に関する研究	100
	高橋 佑弥	東京大学	空隙・ひび割れ中の混相挙動に基づいたコンクリート構造のアルカリ骨材反応-凍害複合劣化評価	100
	須田 裕哉	琉球大学	ペーストチップによる環境履歴を受けたコンクリートの部位・部材毎の品質評価手法の開発	100
	榎本 忠夫	茨城大学	道路盛土の法尻部に着目した新しい耐震補強工の開発	100
	渡辺 亮一	福岡大学	フルボ酸鉄シリカによるアサリ生息場再生に向けた実証研究	100
	米津 明生	中央大学	長期使用中における高分子水処理膜の劣化モニタリング技術の基礎研究	100
	中谷 祐介	大阪大学	都市感潮河川網における合流式下水由来スカムの動態に関する研究	100
	福山 智子	立命館大学	インフラ構造物へのセンサ利用を指向したカーボンナノチューブ混和コンクリートの電気化学的特性の把握とカーボンナノチューブ使用量低減に関する研究	100
土木分野計			1,300万円	

建 築 分 野	助成者名	所属	研究課題	助成金 (万円)
	村本 真	京都工芸繊維大学	土壁が主な耐力要素となる伝統木造建築のためのシミュレーション技術の開発	100
	海野 聡	国立文化財機構	古代建築の屋根架構システムの日中比較	100
	林 和宏	豊橋技術科学大学	センシング技術に基づく極大地震被災建物杭部材の健全度評価および継続使用可否判定支援システムの構築	100
	藤田 慎之輔	東京工業大学	地盤の不確定性を考慮した基礎杭の設計支援ツールの開発	100
	松川 寿也	長岡技術科学大学	空家の利活用を目的とした市街化調整区域の建築制限緩和に関する基礎的研究	100
	吉野 裕貴	仙台高等専門学校	ブレース型ダンパーが取り付く鋼構造骨組みにおけるH形鋼梁の横座屈に対する非構造部材の必要補剛性能	100
	市川 紘司	明治大学	戦後台湾の建築における日本植民地経験の影響ー本省人建築家・陳仁和のRC造による木造擬態表現に注目してー	100
	大風 翼	東京工業大学	ラージ・エディ・シミュレーションによる高層建物周辺の突風特性に関する研究	100
	五十嵐 豪	東北大学	高炉スラグ微粉末を大量に用いた高性能コンクリートの開発	100
	菅野 秀人	秋田県立大学	全体曲げ変形挙動に着目した超高層建築物のセミアクティブ地震応答制御	100
	佃 悠	東北大学	滞在型図書館空間に対応した新たな評価方法の創出に関する研究	100
	多幾山 法子	首都大学東京	アラミド繊維シート補強された木造柱脚接合部の変形性能向上と地震時最大層間変形角の簡易測定	100
	建築分野計			1,200万円
研究助成総計			2,500万円	

(2) 国際会議助成金の交付

平成30年3月7日の選考委員会の答申を受け、3月20日開催の平成29年度第2回定時理事会で承認された2件の国際会議について、助成金200万円を6月に交付した。

区分	会議名称	期間	責任者	助成額 (万円)
土木分野	第1回 圧入工学に関する国際会議2018	2018年9月19日 ～9月20日	国際圧入学会 会長 日下部 治	100
土木分野	第12回生態水理学に関する国際シンポジウム	2018年8月19日 ～8月24日	埼玉大学大学院・理工学研究科 教授 浅枝 隆	100
国際会議助成合計				200万円

(3) 特別研究テーマの選考

平成30年3月20日に、第1回理事会で選任された理事により選考が行われ、5グループを選考し、総額495万円の助成を行った。

所属大学	代表者	所属学部学科, 学年	申請額万 円
東京大学大学院	大原 勇	工学系研究科社会基盤学専攻修士1年	100
呉工業高等専門学校	重光 裕介	環境都市工学科本科5年	100
九州大学大学院	竹林 知樹	都市環境システム工学専攻博士課程1年	100
福島工業高等専門学校	市川 希	産業技術システム工学専攻 社会環境システム工学コース 金澤研究室1年	95
埼玉大学	本田 美樹	理工学研究科環境社会基盤国際コース修士1年	100
特別研究テーマ 合計			495万円

2. 平成30年度顕彰事業について

(1) 前田工学賞及び山田一字賞の授与

平成30年3月7日の選考委員会の答申を受け、3月20日開催の平成29年度第2回定時理事会で承認された下記の者に対し、平成30年6月1日(金)品川GOOS内ランドマークスクエア東京において授賞式を行い、前田工学賞にはそれぞれ賞状及び賞金(100万円)を、山田一字賞にはそれぞれ賞状及び賞金(50万円)を贈呈した。

前田工学賞授賞者

区分	氏名	所属	論文題名
建築分野	川島 範久	東京工業大学環境・社会理工学院 建築学系	日本における環境配慮型建築の設計プロセスに関する研究

山田一字賞授賞者

区分	氏名	所属	論文題名
土木分野	杉山 友理	港湾空港技術研究所地盤研究領域	海底地盤の力学性状把握に関する基礎的研究
土木分野	近広 雄希	信州大学工学部	平衡力学理論に基づくシザース型展開橋の解析と最適化アプローチ
建築分野	藤下 和浩	構造計画研究所構造設計1部	損傷配分に着目した低耐力RC架構の制振改修における最適ダンパー量の決定方法
建築分野	石樽 督和	東京理科大学工学部建築学科	闇市の形成と土地所有からみる戦後東京の副都心ターミナル近傍の形成過程に関する研究

3. 令和元年度事業に対する広報・募集及び選考活動について

当法人の助成金の交付時期は、研究者の年度計画達成を援助するため、新年度期首に交付している。そのため、標題の諸活動は先行的に平成30年度中に実施している。

(1) 広報活動

- ①土木学会HP及び土木学会誌、建築学会HPに募集要項を掲載した。
- ②当財団HPに募集要項、応募用紙を掲載した。

(2) 募集活動

- ①全国の土木、建築系の学科のある約200の高等専門学校、大学、大学院に募集依頼と募集要領を送付した。

(3) 選考

①研究助成について

土木分野43件、建築分野50件の応募があった。応募課題に対し、1件当たり3名の選考委員で、定められた評価要素につき第一次審査を行い、平成30年12月11日（火）開催の第1回選考委員会において、土木分野16件、建築分野29件を第二次審査に付すこととした。

第二次審査は、全選考委員による審査結果に基づいて、平成31年3月7日（木）開催の第2回選考委員会において、土木13件、建築14件の候補者を選定し、青山選考委員長から岡村理事長に報告した。

理事長はこれを、3月13日（水）開催の平成30年度第2回定時理事会に議案として上程し、出席理事全員一致で選考委員会選定の候補の助成を決定し、その後申請者に通知した。

②国際会議助成について

土木系分野3件、建築分野3件、共通分野1件、合計7件の申請があった。第1回選考委員会において、申請された7件全てを詳細に審査することとし、その結果を基に第2回選考委員会において選考した。選考の結果、土木分野1件、建築分野1件、共通分野1件の合計3件を国際会議助成候補とすることとなり、理事長に報告した。

理事長はこれを、3月13日（水）開催の平成30年度第2回定時理事会に議案として上程し、出席理事全員一致で助成を決定し、その後国際会議責任者に通知した。

③前田工学賞・山田一字賞顕彰について

応募状況は、土木分野 6 件、建築分野 9 件の計 15 件であった。

ア、応募にあたって提出された学位論文の内容要旨及び論文業績について出席した選考委員全員によって、定められた評価要素を勘案し、一次審査を行った。平成 30 年 12 月 11 日（火）開催の第 1 回選考委員会において、土木分野で 4 件、建築分野で 5 件の計 9 件を 2 次審査に付すこととした。

イ、2 次審査は、学位論文本文の提出を受け、これを委員全員で審査した。その結果を平成 31 年 3 月 7 日（木）開催の第 2 回選考委員会において審議し、前田工学賞として土木分野、建築分野でそれぞれ 1 名、山田一字賞について、土木分野、建築分野でそれぞれ 2 名の合計 6 名の候補者を選定し、青山選考委員長より岡村理事長に報告した。

ウ、理事長はこれを、3 月 13 日（水）開催の平成 30 年度第 2 回定時理事会に議案として上程し、出席理事全員一致で顕彰を決定し、その後申請者に通知した。

令和元年度前田工学賞受賞者

土木分野：橋本 涼太 氏

建築分野：坂井 禎介 氏

以上 2 名

令和元年度山田一字賞受賞

土木分野：福島 秀哉 氏

高畠 知行 氏

建築分野：楊 勇 氏

西尾 悠平 氏

以上 4 名

④特別研究テーマの選考について

9 件の応募があり、平成 31 年 3 月 13 日（木）に、理事会で選任された理事により選考が行われ、7 グループを選考した。その結果は、同日開催された平成 30 年度第 2 回定時理事会で報告された。